



日本体育・スポーツ経営学会 第52回研究集会

スポーツ組織の経営を考える

スポーツシステムの新たな展望“ガバメント”から“ガバナンス”へ —ポスト2020年を見据えて—

JSMPES

国家の威信をかけた国際的的巨大イベントの東京開催を5年後に控えた今、日本のスポーツ界は、ポスト2020を見据えて新たなステージへの道を拓く大きな飛躍の好機にある。その向かうべき方向は、世界中どこでも実現していないスポーツにおける「高度化」と「大衆化」の相乗的・統合的発展を可能とする新たなスポーツシステムの構築であり、それは後生に残すべき重要な五輪成果の1つであると考え。そしてそのためには、スポーツプロモーションを使命とする民間スポーツ組織が次の2つの経営的課題を克服し、スポーツ界が官主導のガバメントから官-民、民-民協働のガバナンス・システム(協働統治体制)へと変革を進めることが求められよう。

1つには、スポーツ諸組織の経営的な「自立と自律」を確立することである。多くのスポーツ連盟・団体は、自立した経営体として経営機能を十分に発揮しているという組織状況にはない。例えば、スポーツの普及面については、具体的な中・長期的目標を独自に設定し、戦略的・体系的に諸方策を意思決定し、その実現に向けて資源を自ら調達して組織的に実行し、実施結果を客観的・多角的に評価・点検して目標設定やプランにフィードバックするという自律的でイノベティブなマネジメントが十分に機能しているようには思われない。また、人的資源では外部有識者に組織の重要な意思決定を委ね、財政面では公費や企業等への依存度が相対的に高いなど、主体的な資金調達策も不十分である。スポーツ連盟・団体の経営をめぐる諸問題は、長い間の行政依存体質が生んだこうした戦略的マネジメント力の脆弱さに起因していると考えられる。

もう1つは、スポーツ諸組織間の「連携・協働関係」を強化することである。わが国のスポーツ振興システムは、地域別・種目別・対象別等によって専門分化した多種多様な組織と複数の統括組織から構成されており、極めて複雑な構造であるところに大きな特徴がある。こうしたスポーツ諸組織は、スポーツの普及と強化という共通の理念・目的を掲げているにもかかわらず、セクショナリズム的・保守的組織文化が強く、互いに無関心で組織間の有機的な協働関係がない場合が多いため、組織の乱立状態を呈しており、パイ(スポーツ愛好者)と資源の奪い合い等、競合状態・敵対関係に陥っている場合も少なくない。スポーツ基本法や基本計画において、「連携・協働」がとりわけ強調されたのもその課題性の深刻さを反映したものでいえよう。

本研究集会では、多様なスポーツ組織の中でも特にこれまで学術的なメスが入られることの少なかったナショナルレベルのスポーツ団体(NF及び統括組織)に焦点を当て、上記のような民間スポーツ経営組織の経営をめぐる諸課題の具体的な現実を共有すると共に、本質的・抜本的な解決に向けた幾つかの方向性について議論を深める場としたい。

— プログラム —

- I 基調講演 「スポーツ組織の公共性と自立性からみた課題と展望」
菊 幸一(筑波大学)
 - II 調査報告 「民間スポーツ組織(中央競技団体)の公共性に関する実態調査報告」
清水 紀宏(筑波大学) 笠野 英弘(筑波大学)
 - III シンポジウム 「民間スポーツ組織の経営ビジョンと経営課題」
 - ◇スポーツ団体の国際比較
溝口 紀子(静岡文化芸術大学)
 - ◇中央競技団体の経営実態と自立に向けた課題
大塚 眞一郎(日本トライアスロン連合)
 - ◇スポーツ・ガバナンスシステムにおける統括組織の役割
江橋 千晴(日本体育協会)
- コーディネーター 清水紀宏(筑波大学) 指定討論者 菊 幸一(筑波大学)

日 時 平成27年12月5日(土) 13:00~17:30

場 所 筑波大学東京キャンパス文京校舎134教室

定 員 200名

主 催 日本体育・スポーツ経営学会

協 力 日本スポーツ社会学会 日本体育・スポーツ政策学会

プログラム詳細、参加申し込み方法は、裏面をご確認ください

【プログラム詳細】

12:15～ 受付

13:00～13:10 趣旨説明

13:10～14:20 講演「スポーツ組織の公共性と自立性」
菊 幸一（筑波大学）

14:30～15:00 調査報告「民間スポーツ組織（中央競技団体）の公共性に関する実態調査報告」
清水 紀宏（筑波大学） 笠野 英弘（筑波大学）

<休憩>

15:15～17:15 シンポジウム「民間スポーツ組織の経営ビジョンと経営課題」

◇スポーツ団体の国際比較

溝口 紀子（静岡文化芸術大学）

◇中央競技団体の経営実態と自立に向けた課題

大塚眞一郎（日本トリアスロン連合）

◇スポーツ・ガバナンスシステムにおけるスポーツ統括組織の役割

江橋 千晴（日本体育協会）

コーディネーター 清水 紀宏（筑波大学） 指定討論者 菊 幸一（筑波大学）

17:15～17:20 閉会挨拶

柳沢 和雄（日本体育・スポーツ経営学会 会長／筑波大学）

◆日時 平成27年12月5日（土） 13:00～17:30

◆場所 筑波大学東京キャンパス文京校舎134教室

〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1

丸ノ内線茗荷谷（みょうがだに）駅下車「出口1」徒歩2分

http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html

◆定員 200名

◆主催 日本体育・スポーツ経営学会

◆協力

日本スポーツ社会学会 日本体育・スポーツ政策学会

◆参加費（資料代を含む）

一般会員 2000円 学生会員 1000円

非会員社会人 3000円 非会員学生 2000円

◆参加申し込み方法

参加を希望される方は、参加申し込み書を下記学会事務局までお送りいただくか、電話・FAX・電子メールのいずれかの方法で①氏名、②連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）、③所属をご連絡ください。



<参加申し込み・お問い合わせ先：日本体育・スポーツ経営学会事務局>

〒305-8574 つくば市天王台1-1-1 筑波大学体育科学系体育・スポーツ経営学研究室

電話/FAX: 029(853)6363 E-mail: jimukyoku@jsmpes.jp